



いまいは今  
vol.223

発行 今井町並み保存会  
発行日 平成31年1月1日  
電話 0744-22-1128  
http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/  
e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp  
◇ご意見・ご感想は  
今井まちづくりセンターまで

### 新年の挨拶

今井町並み保存会 会長 若林 稔

明けましておめでとございませう。

平成31年は初めの終わり！

きつと今年は新しい年号の始まりで神武天皇陵に新天皇のご報告に行幸される事でしょうね。

今井町では稱念寺の工事の覆い屋根が撤去され、平成の大工事も終焉に近づきますが、完成を含むと新しい年号とまたぐ記憶に新たな1ページを記すことになるでしょう。

かつて国政の大事、西南の役を明治天皇は我が今井でお知りになりました。

そして国を挙げて歴史の町の保存を唱えた全国町並み保存活動の口火を切ったのは今井町からでした。

その後、町並み保存は住民から行政主導の保存活動に様変わりして全国で旧

町並みの保存が叫ばれているのは周知のところですよ。

こうした歴史の機運の中、再び住民の意識を高め、歴史の町に何が出来るのか、何をしたら真の保存に寄与できるのかを再考するときにやってきました。

3月2・3日全国町並み保存連盟の役員で構成する理事会を今井町で開催することが決定しました。

そして関西ブロックの町並み保存、まちづくり活動をしている仲間たちの会合を同時に開催することも決定しました。

少子高齢化によりどこでも各種財源、人材が減少していく時代にあつて、この大会がまちづくりの新しい課題を見つけてこののできる大会になることを願って開催したいと思ひます。

その他にも、今井町並み保存会は長い歴史の続きを、町の皆さんのお力を借りて育ててくれた町に、何でお返しできるかを考えながら、邁進してまいります。

皆さんの暖かい見守りとご支援を今井町並み保存会にお願ひして年頭のご挨拶とさせていただきます。

### 第41回全国町並みゼミ大会報告(1)

「いまいは今」第221号で予告していましたが、「第41回全国町並みゼミ」長野松代・善光寺大会」の報告を今号より掲載していきます。

第1回目は、保存会常任理事の中西知氏による報告です。

晩秋の北信濃の地で、11月16日(金)〜18日(日)の三日間にわたつて、全国町並みゼミが2地区をつないで開催されました。

長野市松代町は、松代城(海津城)の城下としての町並みが残り、武家屋敷の泉水(池)と泉水路が良好に維持保存されて、行政と住民によるまちづくりが進められています。

善光寺は、門前町としての町並みの空き家・空き店舗に、若い世代が着目して、リノベーションによるまちづくりを進め、近年注目されています。

ゼミは、全体会議と5分科会を組み合わせて運営され、基調講演の「まちの内部分からの崩壊を防ぎ、町並みの保存から住んでいる人が元気になるライフスタイルを提言」することを目指して、各まちづくり関係者の交流と、現状の課題の開示と解決に向けた情報交換を活発に実施しました。

初めて、全国ゼミに参加した感想は次のとおりです。

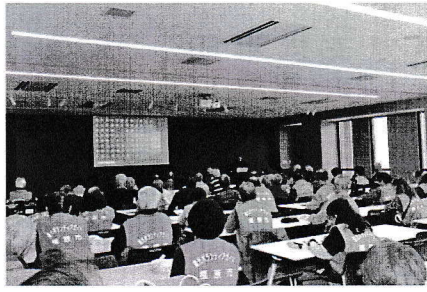
盛大に開催された全国町並みゼミの発端が、今井・有松・妻籠の3地区の有志による協議会であることを知つて、今井町が担わなければならない町並み保存活動の責務の大きさを痛感しました。



## ガイド交流会基調講演

12月12日(水)、奈良県の重要伝統的建造物群保存地区3地区のガイド交流会が開催され、当会会長の若林氏が基調講演を行いました。

その後、今井町華薨に移動して、橿原市観光ボランティアのみなさんが、五条新町と大宇陀松山地区の、方々30数人をガイドしながら町内を見学すると同時に交流を深めました。



「ただいま」といって帰ってくる」今井町です。

(記事は交流会に参加された中西知氏に寄稿頂きました)

## ユネスコアジア文化センター研修

11月23日(金)、ユネスコアジア文化センターの方が研修に訪れました。

整備事務所より建物や空き家の活用事

例、防災の話等、保存会からは保存活動に関する歴史、取組などを紹介後、町歩きをしました。

同時通訳の方が同行し、非常に熱心に研修を受けておられ、今井町への関心の高さを感しました。



## 帝塚山大学今井町撮影

10月27日(土)より帝塚山大学文学部文化創造学科の牟田口章人教授による今井町の撮影が行われています。

配布された資料によると、この撮影は「日本の歴史が積み重なる奈良の今日の姿を映像で記録し、未来に伝えるプロジェクト」の一環として行われるもので、「国や奈良県が指定して」いる「重要文化財の建造物を、全て最新機器で映像記録」することです。

テレビ等で最近、4Kや8Kといった従来の画質を凌駕する、高精細で臨場感のある映像規格が話題となっていることは、皆様もご存じのことと思います。

今回は、こういった新しい映像規格での撮影により、今井町の町並みが細部まで記録されることとなり、それが後世にまで残されるのですから、大変意義深い

ことだといえるのではないのでしょうか？

またこのほかにも、特殊な機器を用いた全天周(360度)撮影も行われる予定で、これに関してはスマートフォンによる視聴が可能となることで、「まるで通りを自分で歩いているような気分になって視聴」できるそうです。(ちなみに、この全天周撮影については、平成29年度の今井町並み散歩を撮影したデータを帝塚山大学文学部文化創造学科のフェイスブック上で発見することができました。)

撮影された映像については、牟田口教授の研究室で整理した上で保存会や自治会にも寄贈していただけるだけでなく、機会があれば「全国全世界に今井町の魅力を伝えるために上映」することも検討したいとの考えもあるようです。

これが実現すれば、今井町に関心を持っていただく一つのきっかけとなるのではないのでしょうか？

## 保存会初釜

1月26日(土)午後1時から今井わかば会、奥田先生のご自宅にて今井町並み保存会の初釜を開催します。

参加ご希望の方は今井まちづくりセンターまでご連絡ください。

○会費 千円

○当日は出来るだけ和装でお願いします。